

この街で 心と心 響きあう

緑風会 だより 2024

世田谷区

東京ステージ

エリザベート成城・緑風



脱コロナ! 動き出した日常



ユニットリーダー実地研修施設として |||||



ユニットケアの充実をテーマにサービスの在り方を模索する中で、ユニットリーダー実地研修施設の認定を得ることを目標にしてきました。職員全員で目標を共有し、利用者様にとって住み慣れた家になるような設え、居心地が良く落ち着いて暮らせる環境づくりや、24シート(※)の見直しと更新、24シートを用いた個別ケアの実践に取り組んできました。

2022年度にユニットリーダー実地研修施設としての現地調査を受け、同1月11日に認定を受けることができました。しかし、ユニットリーダー実地研修施設として認定を得たものの、実際に実習生を受け入れるには、ケアの方法や仕組み、設えの改善など、様々な課題がありました。

そこで、日本ユニットケア推進センターの指導員を招き、3回にわたる集中研修を行いました。施設課題の抽出と改善方法の検討を通し、ユニットリーダーに求められる役割、業務の確認にはじまり、24シートに関する記録や情報収集、自分の居場所としての居室環境の更なる改善、共有スペースの設えの変更に取り組むことができました。その他にも食事の準備・提供方法や常備食の考え方、机・椅子の高さ調整、スタッフコーナーから職員の目線を感じさせない工夫など、実りある学びとなりました。

※24シート：ご入居様個々の24時間の暮らしづくりが判る生活支援のための資料



「ユニットケアとは？」

利用者様の尊厳を大切にし、その人らしい暮らしを支える大切なアプローチです。施設全体で一律の日課を設けず、入居前からの環境における『暮らしの継続』をめざします。利用者様の想いに寄り添い、日々を豊かに楽しく暮らせるように支援することにより信頼関係を築きます。ケアの面だけでなく、施設全体や各ユニット、居室内の設えも重要です。入居していても、ご家族や地域社会とのつながりを保ちます。



触れ合える喜び

～面会の再開～

新型コロナウイルスの影響は大きく、そして長く、それは利用者様とご家族にも大きなものでした。

3年にわたり直接面会ができない状況が続き、2023年6月、遂に念願の直接面会を再開することができました。備えとして時間や人数などの制限は設けさせていただいているものの、ガラス越し、ましてや画面越しではなく、直接顔を見、声を聞き、そして触れ合える喜びは、何物にも代えがたいものであることを再認識することになりました。



広がる輪 ～地域との共生～

新型コロナウイルスは面会だけでなく、職場体験の受け入れや地域との関わりにも大きな影響を及ぼしていましたが、やっと2022年から中学生の職場体験の受け入れ、子ども食堂や介護予防体操など地域交流ホールの貸し出しを再開。2023年も少しずつ地域との関わりを広げている中で、地域へ赴いての「家族介護教室」の実施、またちょっとした困り事のお手伝いの「プチサポ」「お気軽に相談会」なども引き続き行い、成城まつりでの会場の貸し出しと運営の手伝いなど、コロナ前とはいかないものの、徐々に地域との関わりが戻ってきています。



街づくり

～施設の中の小さなコミュニティー～

施設内では、ミニデイ・お料理教室などのクラブ活動のほかに、書道サークルが新たに仲間入りしました。1階のセミパブリックスペースには、売店の設置も準備中。施設の中での街づくりも進んでおり、利用者様の豊かな暮らしを支えつつあります。



看取りの取り組み |||||

～自宅での看取り～

施設での面会がなかなか叶わない中で、在宅復帰を試みた事例がありました。自宅で一緒に暮らしたいとの、ご家族の強い要望があり、その気持ちに応えたい、でも今自宅で過ごすには色々な課題があり、あまりにもリスクが高すぎたため、一時外泊を試しました。自宅の環境や支援にあたるご家族の力、食事の準備や介助、清潔の保持などが壁となり、在宅復帰は一時諦めることとなりました。

そんな中で、看取りの時期を迎えられ、最期は自宅でのご家族の強い思いで、ご自宅での看取りをすることになりました。

ご家族を招いてのカンファレンスで、ご家族が自宅でできる支援や環境づくり、またその方らしい最期を迎えられるよう一緒に考えました。

職員もご自宅にお邪魔し、様子を伺いながら近況把握を行い、そして心からのエールを送りました。ご家族の熱い思いと協力医療機関によるバックアップのもと、安らかに旅立たれました。



とある停電時の出来事

太陽光発電の設置で4時間の計画停電が起こった時、施設内は非常災害時かのような状況になりました。停電のため、水・ガスは使用が止まり、館内のPHS以外の電気機器も使用できません。1時間を超えると常備灯などが消え、光の入りづらい1階・2階は真っ暗になります。

食事は非常食を利用し、カセットコンロでの湯せん、使い捨て食器の利用で対応。下水に使用する水、また光源はあらかじめ準備。利用者様にはご迷惑をお掛けしましたが、復旧まで滞りなく過ごすことができました。

無いに越したことはない長時間の停電でしたが、非常災害時への備え、実動、課題の抽出と実りある訓練になりました。また太陽光発電設備も無事に設置できています。





みんな気になる 施設の食事についてのお話!

施設の食事ってどんなものを食べているんだろう？美味しいのかな？身体にいいんだろうなあ！などいろいろなことを考えられているのではないのでしょうか。

施設理念のもと、利用者様一人ひとりに合わせた個別ケアの実践、施設内のコミュニティづくりやクラブ活動の充実などに様々な取り組みを行う中で、施設が利用者様にとっての居場所(家)になれるよう、食事面では、ユニット内での炊飯や盛り付け、使い慣れた食器の利用など、より家庭が感じられるようアプローチしています。

毎日の暮らしの楽しみとしても、食事が担う役割はとても大きいものです。開所記念日や敬老会などに用意される祝いの献立や元旦・節分・七夕など、季節を感じられる行事食にも取り組んでいます。またお料理教室・一品づくり、食にまつわる行事など、利用者様が食事に関わる機会を設け、より美味しく召し上がっていただけるよう工夫しています。

また調理している給食委託会社もいろいろな工夫を凝らしており、現在は月に1度、都道府県にスポットを当てた郷土料理のイベント食を実施しています。



～日本全国味めぐりの旅～

長崎



- ・カレーピラフ
- ・牛肉のレモンステーキ など

長野



- ・ますの七味焼き
- ・柿の白和え など

青森



- ・とりめし
- ・ブロッコリーのホタテ風味あんかけ など

愛媛



- ・しょうゆ飯
- ・じゃこ天 など

栃木



- ・藤色ご飯
- ・餃子のおろしあんかけ など

※写真は一部で、いろいろな郷土料理があります♪

特別養護老人ホーム エリザベート成城 TEL. 03-3789-8100 FAX.03-3789-8144

事業種別	特別養護老人ホーム(ユニット型)	開所	2014/12/1
定員	100名(10ユニット) 全室個室	設備	ICTシステム・デジタルインカム・見守りシステム
施設理念	私たちは 入居者の皆さまの これまでの「暮らし」を継続し 心と心を大切に 笑顔で豊かな生活を支援します。		
概要	在宅での暮らしが困難な要介護高齢者に対して介護・入浴・排せつ・食事などの日常生活のお世話と機能訓練や健康管理などの療養上のお世話をします。できるだけ自律した生活が送れるようサポートします。		
利用要件とサービス内容	原則として65歳以上で、身体上、精神上著しい障がいがあるために常時介護が必要な方のうち、病状が安定している方で、在宅介護が困難な要介護者(要介護3~5)が利用できます。食事、入浴、排せつなどの日常生活の支援と機能訓練やレクリエーションなどのサービスをご利用できます。		
利用までの流れ			

事業種別	ショートステイ(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護)		
定員	20名(2ユニット) 全室個室	設備	ICTシステム・デジタルインカム・見守りシステム
概要	利用者様が可能な限り自宅で自律した日常生活を送ることを目的に、自宅にこもりきりの利用者様の孤立感の解消や心身機能の維持回復だけでなく、ご家族の介護の負担軽減などを目的としています。		
利用要件とサービス内容	原則として65歳以上で、身体上、精神上の障がいがあるために支援や介護の必要な方で、在宅で生活されている要支援者(要支援1・2・要介護1~5)が利用できます。一時的に施設入所サービスを利用することにより、介護を行うご家族の負担軽減を図り、また、利用者様は食事、入浴などの日常生活の支援・介護と機能訓練やレクリエーションなどのサービスをご利用できます。		
利用までの流れ			

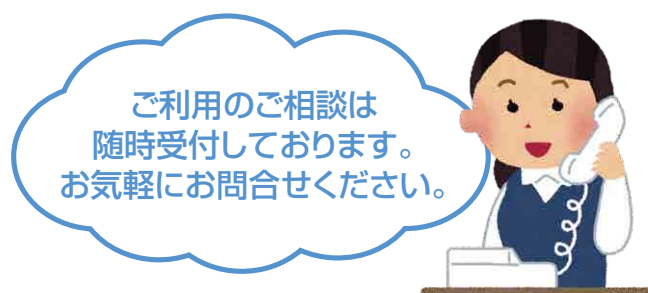
エリザベート成城は、東京都福祉サービス第三者評価を受審しています!

第三者評価とは、第三者の目から見た評価結果を幅広く公表することにより、利用者様や他の事業者に対して情報提供を行うとともに、評価結果をもとに、評価を受けた事業者がサービスの質の向上に向けた取り組みを促進することで、利用者様本位の福祉の実現をめざすものです。

**エリザベート成城の
詳しい評価結果は
こちらから検索できます→**

とうきょう福祉ナビゲーション
東京福祉サービス第三者評価のページ
<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/hyoka/hyokatop.htm>





都市型軽費老人ホーム 緑風

TEL. 03-3789-8122 FAX.03-3789-8144

事業種別	都市型軽費老人ホーム	開所	2014/12/1
定員	10名 全室個室	設備	ICTシステム
概要	世田谷区に在住する方を対象とした小規模な軽費老人ホームです。家庭環境、住宅事情などの理由により、在宅での生活が困難な方に、比較的 low 額な料金で食事や日常生活に必要なサービスをご利用できる事業所です。		
利用要件	原則として60歳以上で世田谷区に住民票があり、身体機能の低下などにより自立した生活を営むのに不安があり、家族による援助を受けるのが難しい方が対象となります。 *所得に応じて利用料(負担金)が変わります。		
利用までの流れ	<pre> graph LR A((利用希望)) --> B(施設に問い合わせ、申込) B --> C(施設に空きが出れば順番に連絡) C --> D(利用前面接し日程を調整) D --> E((利用決定)) </pre>		

施設内の見学や利用相談については、まずお電話ください。

バーチャル施設見学

バーチャル施設見学ができます。好きな場所のQRコードを読み取っていただくと施設内を360° 見ることができ、自由に移動もできますので、是非ご利用ください。



施設の概要やサービス内容などの詳しい内容はホームページからも確認いただけます→



ブログ更新中!

施設の活動や情報を掲載!



エッセンシャルワーカー | 募 | 集 | 中 |

世の中になくてはならない仕事です。
「笑顔」と「ありがとう」を喜びに
私たちと一緒に働きませんか？



詳しい情報は、
エリザベート成城 HP でも確認できます。
◀QRコードからアクセス

健祥会グループ
採用サイトはコチラ▶



時短パートも募集中！
詳しくはお電話にてお問い合わせください。

どんな場所で働くの？
どんな仕事をするの？
給料はどれくらい？



採用担当者が ご説明いたします！

まずはweb申込みまたはお電話を！

■お問い合わせ

03-3789-8100

特別養護老人ホーム エリザベート成城
〒157-0066 世田谷区成城八丁目27番24号

エリザベート成城・緑風



福 | 利 | 厚 | 生 | の | 充 | 実



住宅手当支給



企業との提携等による
割引特典多数



資格取得支援制度



職員貸付金制度



各種慶弔金支給



職員親睦懇談会